



©関健作

### 故・永田 純子さん(47歳・中沢)

栗東国際交流協会の韓国語講師として活躍する一方で、第二栗東なかよし作業所 観音寺窯での「ランチ会」の企画など、数々の斬新なアイデアで市の魅力をつなげる。

滋賀県発祥で、交通安全を呼びかける「飛び出し坊や」を愛し、平成24年には、市内で関連ワークショップイベントを開催。坊やを携えて世界中を楽しみながら旅し、その旅は末期がんを宣告されてからも続いた。

永田さんの生き方に  
ふれてみませんか？



#### 「じゅんこさんを旅する会」

- ・期間…2月8日(水)～25日(土)
  - ・場所…市立図書館 (休館日にご注意ください)
  - ・内容…永田さんの写真や愛用品などの展示
- ※本は図書館でもご覧いただけます。

**末** 期がんを宣告されてからも「誰だつていつか死ぬ。何も怖くない」と自分らしい生き方を貫きながら、昨年3月、亡くなった女性がいま。永田純子さん。47歳でした。永田さんにステーション3の卵巣がんが見つかったのは、45歳の時。余命3週間でした。抗がん剤治療の副作用に苦しんだ永田さんは、2か月で化学治療から民間療法へ転換。好きだった「飛び出し坊や」との旅を続けました。亡くなるまでに訪れたのは、ブータンなど4か国。その一つ、ミンダナオ島では、内戦で家族を失った子どもたちのために「飛び出し坊や」を作るワークショップを開催。完成した坊やは現地に設置されています。まちや人の魅力を発見し、交流の

輪を大きく広げてきた永田さんは、多くの人から慕われていました。亡くなった後の「お別れの会」では、のこぎり演奏など永田さんならではの内容で、400人以上が旅立ちを見送りました。また、「お墓に入るより、お地蔵さんになりたい」の思いを受け、海外を含むゆかりのある場所に6体の「じゅんこ地蔵」が置かれています。「がんになると病院では、抗がん剤が手術が放射線治療かしか選択肢がないが、もつといろいろな選択肢があつていいはず。海外旅行も選択肢の一つ。私にとって旅とは生きること」と語っていた永田さん。その生き方は友人との著書『「がん」と旅する飛び出し坊や』にも記され、今なお、多くの人が心をつなぎ、勇気付けています。



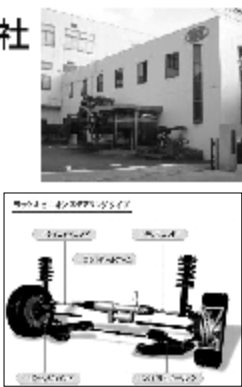
©関健作



555 Reliable Quality for Tomorrow  
三恵工業株式会社

1960年創業以来、主に自動車用補修部品(特にサスペンション、ステアリング系部品)の部品メーカーとして国内を始め、多くの海外のお客様にも長くご愛顧頂いております。

〒520-3045 滋賀県栗東市高野 305  
tel.077-553-0555 fax.077-553-2408  
http://www.sankei-555.co.jp/jp/  
BBCにてCM放映中



大宝東小学校区

GREEN PARK  
蜂屋3期 全22区画

自転車でJR栗東駅まで約10分  
今春分譲開始!!

新築/リフォーム/仲介/賃貸/土地買取

SEIWA 西和不動産販売(株)

栗東市上鉤 459-7 TEL. 0120-477-210



広告欄

有料広告掲載のお申込み・お問合せは 広報課 ☎551-0641 ☎554-1123へ(掲載料金:本文最終ページ:1枠30,000円) 掲載内容のお問合せは、直接広告主へ。内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、市が推奨するものではありません。



人口(1月1日現在) 人口68,259人 男34,038人 女34,221人 前月より34人増 世帯数26,629世帯

この広報紙は地域の間伐材とペジタブルリンクを使用しています。